

出入国在留管理庁（入管）からのご案内①

～入管での難民・補完的保護対象者の申請手続について～

入管で難民や補完的保護対象者の申請手続をするときには必ず

申請書を提出してください（※）。申請書に必要なことをすべて書いてか

ら窓口に来てください。申請書に必要なことが書かれていないときは、

必要なことをすべて書いてからもう一度窓口に来てもらうこともありま
す。

この案内の後ろにある資料は、申請書にどんなことを書けばいいかを

説明するために、申請書の言葉を分かりやすくしたものです。

申請書を書くときはこの案内と一緒に後ろにある資料も読んでくださ
い。

よく分からないときは、入管の職員に相談してください。

（※）難民の申請手続は、「人種」、「宗教」、「国籍」、「特定の社会的集団の構成員で
あること」又は「政治的意見」が理由で、自分の国に帰ったら、命や身体など
が危ないときに行う手続です。

補完的保護対象者の申請手続は、例えば、自分の国で紛争が起こり、その紛争
に巻き込まれる可能性があるため自分の国から逃げてきたなど、上の5つの理由
以外の理由で、自分の国に帰ったら、命や身体などが危ないときに行う手続で
す。

出入国在留管理庁（入管）からのご案内②

～申請書を書くときのお願い～

申請書はあなたが難民や補完的保護対象者かどうかを審査するため

にとっても大切なものなので、必要なことをすべて、なるべく詳しく書い

てください。また、下のことを守ってください。

- 原則として、申請書は難民や補完的保護対象者の手続をする人が書くものです。

ただし、16歳になっていない子どもの申請書をお父さんやお母さんが書くことはできます。

- 字を書くことができない人は、入管の職員に相談してください。
- 質問の答えが何も書かれていないままだと、あなたが書き忘れてしまったの

か、書く答えがないのかが分かりません。書く答えがないときは答えの欄に

「×」や「/」と書いてください。覚えていなくて答えが書けないときは「覚えて

いない」と書いてください。

- チェックをつける質問には必ずどれを選んだかが分かるように「✓」を書いて
ください。
- 鉛筆や消せるペンでは書かないでください。

みほん
〈見本〉

難民・補完的保護対象者認定申請書(再申請用)

法務大臣 殿

私は、

①難民認定申請

②補完的保護対象者認定申請(出入国管理及び難民認定法第61条の2第2項の申請)

を行うものとして、本申請書を提出します。
※上記のうち、どちらか一つにチェックしてください。

①の申請をした場合には、補完的保護対象者の該当性についても判断されます。②の補完的保護対象者の該当性のみを判断します。

①「O」でも「✓」でもいいです。

②左に書いた名前と違う名前(ニックネームなど)があれば書いてください。
なければ「×」や「/」にしてください。

・パスポートの名前をローマ字で書いてください。
・パスポートの姓(SURNAME)、名(GIVENNAME)の順に書いてください。

・生まれた日を数字で書いてください。

・パスポートの国籍・地域をローマ字で書いてください。

・今の仕事を書いてください。
なければ「×」や「/」にしてください。

・あなたが生まれた町を書いてください。
パスポートのとおり書いてください。

・日本での今の住所を書いてください。
・在留カードを持っている人は、在留カードの住所を書いてください。

・電話番号を書いてください。
なければ「×」や「/」にしてください。

方 電話番号× 携帯電話番号○○○-××××-△△△△

氏名	NYUKAN ICHIRO			性別	男	別名・通称名等	IMMIGRATION ICHIRO
生年月日	(年)1990	(月)1	(日)1	現在の職業	×		
国籍・地域(又は常居所を有していた国名)	ABCDE			出生地	ODAIBA		
住居地	5-5-30, KONAN, MINATO-KU, TOKYO						
旅券	番号 A123456	発行・更新年月日 2022.1.1	有効期限 2023.1.1	発行機関 GOVERNMENT	発行・更新理由 TRAVEL		
在留カード/特別永住者証明書	×			在留カードを使うことができる最後の日			
本邦上陸年月日	上陸港 2023.1.1	現に有する在留資格(又は許可の種類) NARITA TEMPORARY VISITER	在留期間満了日(又は許可の期限) 2023.1.16				
官 用 欄							
ここには何も書かないでください。							

※この申請書に書かれている名前(NYUKAN ICHIRO)などの内容は見本です。そのまま書かないでください。

【注意事項】

以下の注意事項をよく読んだ上で質問に答えて下さい。

読んだ注意事項には、チェック☑をしてください。

□この申請書には、あなたが主張したい事情を全て書いて下さい。

□回答に当たっては、該当する欄にチェック☑をし、記入部分には、具体的かつ詳細に書いて下さい。（枠内に書けない場合は、別紙を提出してください。）

□この申請書に嘘を記載したり、嘘の資料を提出した場合は、審査上不利益を被ることがあります。

1 前回の難民・補完的保護対象者認定申請後、国籍、家族構成、居住歴、学歴、職歴、本邦出入国歴、海外渡航歴及び宗教に

□いいえ

□はい

•あなたの前回の難民や補完的保護対象者の手続きが終わった後、あなたの国籍、家族、住んでいたところ、学校の記録、仕事の記録、日本への出入り、日本以外の国に行ったこと、あなたの信じる宗教は変わりましたか。

•「はい」に「✓」したときは、下も書いてください。「いいえ」に「✓」したときは書かなくていいです。

→変更事項はどれですか。

荷が変わりましたか。

□ 国籍

国籍

□ 家族構成

家族

□ 居住歴

住んでいたところ

□ 学歴

学校の記録

□ 職歴

仕事の記録

□ 本邦入国歴

日本への出入り

□ 海外渡航歴

日本以外の国に行ったこと

□ 宗教（宗派）

あなたの信じる宗教

→変更内容を具体的に書いてください。

荷がどう変わったか、詳しく書いてください。

2 前回は、どのような迫害事情を主張しましたか。具体的に書いて下さい。

あなたは前回の手続きで、あなたがあなたの国に帰ったら、あなたの命や身体などが危ない理由やどのようなことが起きるかについて、いつ、誰に、どんな危ないことをされたのかなど、どんなことを説明しましたか。

3 今回は、新たに主張する迫害事情はありますか。

□ ない

→「ない」と答えた場合、4の質問に答えた後、6以降の質問に答えてください。

「ない」に「✓」したときは、下の4、6、7、8、9のことを書いてください。

□ ある

→「ある」と答えた場合、4以降の質問に答えてください。

「ある」に「✓」したときは、下の4から9のことを書いてください。

4 迫害を受けるおそれ以外の理由で、日本で滞るが必要な理由がありますか。

- ない
- ある

・あなたがあなたの国に帰ったら、あなたの命や身体などが危ない理由以外に、あなたが日本で生活しなければならない理由があります。
・「ある」に「✓」したときは、下も書いてください。「ない」に「✓」したときは書かなくていいです。

→ 「ある」と答えた場合、具体的に答えて下さい。

日本で生活しなければならない理由を書いてください。

5 3の質問で「ある」と答えた場合、「新たな迫害事情」について、下記(1)から(6)までの質問に答えてください

あなたがあなたの国に帰ったら、あなたの命や身体などが危ない新しい理由について、下の(1)から(6)のことを書いてください。

(1) 「新たな迫害事情」が発生した時期は、いつですか。算用数字により西暦で書いて下さい。

新しい理由は西暦何年に起きましたか。数字で書いてください。

(2) 「新たな迫害事情」をあなたが知った時期は、いつですか。算用数字により西暦で書いて下さい。

あなたは新しい理由を西暦何年に知りましたか。数字で書いてください。

(3) 「新たな迫害事情」が発生した場所は、どこですか。

新しい理由はどこで起きましたか。

(4) 「新たな迫害事情」を前回の手続で主張できなかったのはなぜですか。

あなたが前の手続でその新しい理由を話すことができなかったのはどうしてですか。

(5) 「新たな迫害事情」の内容を具体的に答えて下さい。

新しい理由について、下のことを詳しく書いてください。

ア 迫害を受けたのは誰ですか。

危ない目にあったのは誰ですか。

あなた自身

あなた

あなたの家族・親族

あなたの家族・親族

上記以外 (具体的に書いてください)

あなたや、あなたの家族・親族以外の人

イ 誰から迫害を受けましたか。

誰から危ないことをされましたか。

ウ どのような迫害を受けたのですか

どのようなことで命や身体などが危ない目にあったのか書いてください。

エ 迫害を受けたのは、なぜですか。

あなたやあなたの家族の命や身体などが危ない目にあった理由を書いてください。

オ 迫害と関係する本国情勢に大きな変化があった場合、それを具体的に書いてください。

あなたの国でこれまではなかった大きな出来事がある、それが理由であるあなたがあなたの国に帰ったら命や身体などが危ない目にあうのであれば、それについて書いてください。

(6) あなたが本国に帰国するとすれば、いかなる事態が生じますか。

ア 誰から迫害を受けるおそれがありますか。

あなたが、あなたの国に帰ったら、誰から危ない目にあわされますか。

イ いかなる事態が生じますか。

あなたが、あなたの国に帰ったら、どのようなことが起きますか。

6 今回、新たに提出する資料はありますか。

ない

・あなたが、あなたの国に帰ったら危ないことが分かる書類（前の難民の申請のときに提出できなかった新しい書類など）はありますか。

ある

・「ある」に「✓」したときは下も書いてください。「ない」に「✓」したときは書かなくていいです。

→「ある」と答えた場合、その資料の内容を具体的に書いてください。

どんなものを持っていて、それにはどんなことが書いてあるのか、書いてください。

7 現在の健康状態はどうですか。

異常なし

・あなたは今元気ですか。
・「異常あり」に「✓」したときは、下も書いてください。「異常なし」に「✓」したときは書かなくていいです。

げんき
元気です。

異常あり

げんき
元気ではないです。

→「異常あり」と答えた場合、具体的に書いてください。

・元気ではないことについて、なるべく詳しく書いてください。
・体のどこが痛い、悪いかを書いてください。

※この申請書に書かれている名前（NYUKAN ICHIRO）などの内容は見本です。そのまま書かないでください。

8 難民調査官のインタビューを希望しますか。

希望する

受けてたいです。

インタビューを受けたいですか。

希望しない

受けなくてもいいです。

9 難民調査官がインタビューする場合、通訳は必要ですか。

いいえ

いりません。

・インタビューするとき、通訳はいりますか。
・「はい」に「✓」したときは、下も書いてください。「いいえ」に「✓」したときは書かなくていいです。

はい

いります。

→「はい」と答えた場合、何語を希望しますか。() 語

何語で通訳してほしいですか。

その他通訳に関して希望する事項があれば、理由とともに書いてください。(例：通訳人の性別、国籍)

インタビューの通訳で希望があれば書いてください。その理由も書いてください。
(例：〇〇の理由で、男性・女性の通訳を希望します等)

もに記入してください。(例：難民調査官の性別)

インタビューについて、通訳のこと以外で希望があれば書いてください。
その理由も書いてください。(例：〇〇の理由で、男性・女性の難民調査官を希望します等)

以上の記載内容は、事実と相違ありません。

これまで書いたことに間違いがないか確かめてください。

申請者（代理人）の署名 _____

_____ 年 _____ 月 _____ 日

これまで書いたことに間違いがなければサインしてください。

申請書を入管に出す日にちを書いてください。

※この申請書に書かれている名前（NYUKAN ICHIRO）などの内容は見本です。そのまま書かないでください。